

# stella 451

2008.8.29~8.30

## 摩耶山・まやビューライン虹の駅で オープンカフェステラ451を開催

星と関わりの深い摩耶山で、今年も夜景を楽しむオープンカフェ「ステラ 451」(主催:灘区民まちづくり会議 協力:灘百選の会)を虹の駅でオープンしました。残念ながら雨のため1日だけの開催となりましたが、昨年より眺望がよくなり、昨年にも増して雨上がりの美しい夜景と灘区にこだわったフードを楽しんでいただきました。ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。



「一まちの語り部推進事業-(なだだな)」登録者を募集しています。

灘区在住や灘区内で活躍されている方で、地域のことを語る方や一芸に秀でる方など、様々な技能や知識・経験を有する方を「一まちの語り部推進事業-(なだだな)」に登録し、地域活動にお手伝いいただいたり、歴史を未来へと引き継いでいく方を募集しております。

### ①登録の要件

灘区在住もしくは灘区で活躍されている方で、基本的に無償で地域活動にご協力いただける方です。

### ②登録の方法

登録希望者(本人)が、所定の登録申請書に必要事項を記入し、申請いただき、区民まちづくり会議の審査会を経て、登録します。(場合によっては登録されないことがあります。)なお、登録された方は、灘区ホームページや、まちの語り部推進事業活用ガイドの冊子に氏名、性別、年齢、登録内容などを掲載します。登録有効期間は1年間で、登録された方の申請により、期間を更新できます。

### ③お手伝いいただく内容

灘区ホームページやまちの語り部事業活用ガイドの冊子を見て、興味をもたれた方々(例えば小学校や地域の団体)に対して、基本的に無償で、得意分野の知識を語っていただいたり、技能を提供していただきます。

詳しくは、区役所まちづくり課や地域福祉センターで配布しているチラシや、灘区のホームページをご覧ください。

問い合わせ先: 灘区民まちづくり会議事務局(灘区まちづくり課内)  
電話 078-843-7001



## 灘の人再発見

# なだ だな

編集 灘区民まちづくり会議  
企画運営委員会  
発行 灘区役所  
〒657-8570  
灘区役所まちづくり課内  
(078) 843-7001代

なだだな No.22  
2008年12月

灘区ホームページ [i-nada]  
<http://www.city.kobe.jp/nada/>

第三火曜は  
「ちょっと気配り」参加の日  
一ちょっとした気配りで  
住みよい灘区をー



神戸市広報印刷物登録  
平成25年度第445-4号  
(広報印刷物規格B-1類)



この広報紙は、再生紙を  
使用しています。

# なだ だな

灘のまちを知るための  
情報誌

2008.10  
Vol.  
22

編集 灘区民まちづくり会議  
企画運営委員会  
発行 灘区役所

灘人さん  
いらっしやい!



灘の人再発見



# 灘人さん いらっしやい!

灘区の  
人口は約13万人。結構  
たくさんの方が住んでいます。  
灘百選があるように、灘区には魅力  
的な人たちがたくさんいらっしやいま  
す。今回のなだなは、いろいろな分  
野のまちのスペシャリストにスポット  
をあてた「灘人さんいらっしやい」。  
皆さんの近くにもスペシャルな  
灘人がきっといらっしや  
るはず!

灘区内の自宅に住んでいた時、  
水道筋によく飲みに行きましたよ。



## 灘浜東町で40年の鉄博士 伊藤英章さん

浜の手の体感型学習施設「灘浜サイエンスク  
エア」で、毎日訪れてくる灘っ子たちを見つめ  
るやさしい目の紳士。以前は神戸製鋼所の製鋼  
部で鉄の品質を決めていた鉄博士。夏の暑さ  
との戦いでもあった職場から180度違う今の職場  
へ転身。今日も鉄博士には子どもたちから様々  
な質問が。「鉄はなんで固いの?」という問いに  
は公園のジャングルジムの形を例にしたり身近な  
ものに例えて答える伊藤さん。「ここへ来た子ど  
もたちには何かを感じて帰ってもらいたいです  
ね」鉄博士は意外と柔らかい方でした。

毎日都賀川を  
見ながら  
通勤しています。



## 酒も肴も自分でつくっています 岩佐拓さん

「自分で思った通りのお酒になったときはうれし  
いですね」と話す西郷の酒の若き担い手。入社  
8年目、現在は醸造部に所属し、タンクで米を  
仕込んでいます。高校生のとき恩師に勧められ  
て酒造りの道へ。製造業なのに生き物を扱って  
いるおもしろさに目覚めたものの、気象条件な  
どで菌の状態が変わるのが酒造りの難しさと言  
う岩佐さん。釣り好きで自分で釣った魚を干物  
にして、自分が作った酒で一献なんていう、な  
んともぜいたくでスローな西郷ライフです。

六甲山が好きです。  
ふもとの六甲道でも  
よく買い物しますよ。



## 動物を見守る原田の森の獣医師 下川英子さん

白衣の女医さんが現れるとおもいきや、長靴姿  
が似合う獣医師さん。朝の入院動物の世話から  
始まり、園内をまわって各獣舎の往診と毎日忙  
しい日々。「野生動物は人間と違って弱っている  
ところを見せないで診察が難しいですね」。好  
きな動物はリスザルだそうです。「ビルマニシ  
キヘビもあながいカワイイ」となかなかたくま  
しい。先日天寿をまっとうしたインドゾウの諏訪子  
さんの解剖も担当。動物たちをやさしく見守る  
原田の森の女性獣医師さんです。



## 灘の人再発見

天上寺の回廊から見る  
瀬戸内の景色は最高やね。



## 灘の木一本。もう一つのメイドイン灘 北野ひろしさん

緑豊かな青谷川沿いにたたずむ一軒の楽器工房。  
扉を開けるとギター、バンジョー、マンドリンな  
どがずらり。震災後京都で開いた店を、3年後  
に「街の文化度が高く、神戸の中心から少し離  
れてモノを斜めから見られる」灘区へ移転。「楽  
器作りの面白さは、箱が響き、空間が響くこと」  
と北野さん。ここでつくられた楽器で「灘の木  
一本」と題した展示演奏会を開催したり地元の  
ミュージシャンの楽器を製作したりと、まさに地  
元密着「メイドイン灘」の楽器が生み出されて  
います。

新在家の浜には、貸しボート屋も  
あったなあ。



## 昔の六甲道を知るベテラン区民 上野貞治さん

六甲道歴 70 年以上のベテラン区民。六甲道に  
来た当時は周辺のまちにはまだ畑が残り、六甲  
道駅も高架駅ではなく地上駅。駅の南にあった  
広場でヤンマ採りをして遊んだり、夏は新在家  
の浜に泳ぎに行ったり、貸ボートに乗ったりと今  
では想像できないような灘ライフ。浜では漁師  
さんが地引き網で漁をしていて、手伝うと魚を  
もらえたことも。震災で新しい街になった六甲道。  
上野さんいわく「公園ができて子どもの声がよ  
う聞こえるようになったわ」

夜景もいですが、山上から見える  
六甲連山の雄大な山なみが好きです。



## 六甲山生まれ、六甲山育ち 城井博史さん

六甲山生まれ?「父が六甲山ホテルで働いてい  
たんです」と城井さん。敷地内にあった貸別荘  
の一部が社員用の住宅だったとのこと。子ども  
の頃は六甲山が庭のようなもの。冬は厚い氷が  
張った山上の池でスケートを楽しんだり、外国  
人の別荘でパンやスープをごちそうになったりと、  
六甲山ライフを満喫されたそうです。街から30  
分で大自然に触れられるのが六甲山の良さとい  
う城井さんのお気に入りの場所は「雲ヶ岩やダ  
イヤモンドポイントのような静かな場所」だそう  
です。

六甲道駅から兵隊さんを  
送り出した光景が忘れられません。



## 薄い湯葉に熱い情熱 北山弘視さん

湯葉って京都では?そんな風に思われる方が多  
いかも。実は灘にも大正15年創業の老舗の湯  
葉屋さんが。昔は「このあたりにも湯葉屋が何  
軒かあった」とのこと。最初の中郷町にあった  
徳井市場に工場がありそのころは毎朝おからを  
買いにくるお客さんが毎朝20~30人並んだこ  
とも。毎日同じことの繰り返しながら、気温、水温、  
豆のふくらみ加減など少しずつ違うので経験と  
長年のカンがものを言う湯葉作り。薄い湯葉に  
は熱い情熱がたっぷり。

旧天上寺の奥の院跡あたりの  
自然はすばらしいですよ。



## 摩耶山を駆け巡る山伏行者 藤田寿一郎さん

摩耶山中で聞こえるホラ貝の音。音の主は山伏  
さんたち。20年ほど前に灘区に引っ越して来ら  
れた藤田さんも山伏の一人。天気がよくて時間  
がある時はホラ貝の練習と健康維持のため摩耶  
山へ。「練習の間があくと音が悪くなる」とのこと。  
ホラ貝の音色にもいろいろと意味があるそうで  
す。「摩耶山は手つかずの自然が残っているす  
ばらしい山。特に旧天上寺の奥の院跡のたたず  
まいが良いですね」と話す藤田さん。今日も摩  
耶の大自然の中、ホラ貝の音がこだまします。

貸しスタジオに  
いるときが  
一番落ち着きますね。



## 六甲道の看板女優 ハマヤアキコさん

六甲道に劇団があるって知ってますか?成徳小学  
校近くにある貸しスタジオに本拠を置く劇団ヴァ  
ダーを主宰するハマヤアキコさんは、演出家でも  
あり脚本家でもあり女優さんでもあります。  
結婚を機に灘区に住むようになり、そして震災。  
当時はもちろん娯楽もない中、都心ではなく自分  
たちの住む街で、しかも低価格で芝居を見て  
もらいたいとの思いから劇団を設立。現在は灘  
区だけではなく神戸を中心に活動中。「神戸・灘  
の劇団ということをも意識しています」

釣りが好きでよく都賀川の  
河口に釣りに行きましたわ。



## プリンスZOO前のプリンセス 平山久夫さん

勤めていたソース会社から独立し、昭和33年か  
らソース作りを開始。王子の地名にちなみプリ  
ンスソースと名付けるも、すでに商標があった  
のでプリンセスソースに。灘区内にあった5つの  
ソース会社は現在1軒だけに。大きな釜でたく  
手づくりソースはウスター、とんかつ、どろの3  
種類。あっさりとしつつあとをひく旨味のソース  
作りは、同じように炊いても同じソースはできな  
いので季節ごとに工夫をこらすそう。「息子が継  
いでくれたんがうれしい」と自然と笑みが。

摩耶山の掬星台は  
街から近い別天地!



## 歌声は、アコーディオンにのって 望月一郎さん

灘区内で眼鏡店を経営する望月さんの店にはな  
ぜかアコーディオンが。月に3回、灘区内で歌  
声喫茶の伴奏を担当されています。歌声喫茶  
ってなんですか?「昔はみんなで歌を歌う喫茶店  
があったんです」。カラオケの普及でなくなりま  
したが、ひっそりと灘区に生き残っていました。  
昔を懐かしむ人で毎日にぎわうという歌声喫茶  
の魅力とは?「お腹から声を出すということと、  
みんなでいっしょに歌うということですかね」。  
今宵もなつかしいアコーディオンの音と歌声が  
灘の街に響きます。

灘区民まちづくり会議では  
ユニークな「灘人さん」を  
募集しています。  
詳しくは裏面をご覧ください。